

## 6月2日 陸上競技大会 (3年次)

6月2日、秦野市カルチャーパークで年に一度の陸上競技大会が開かれました。秦野総合の全学年が参加し、自分のベストの記録を出すことを目標に競い合う大会です。

それぞれの競技の中で、特にリレーが白熱していました。陸上競技大会の中で唯一の団体種目であり、仲間にバトンを渡して、走りを受け継いでいくというバトンパスがポイントになる競技です。

まず、女子のリレーは、1人ひとりが笑顔だったのが衝撃でした。観戦している人にまで楽しいという気持ちが伝わってきていました。次に、男子リレーは、特に情熱が伝わってくる走りでした。一生懸命、全力で走っていて、勝ちたいという気持ちが感じられました。また、男女混合リレーでは、メンバーに選ばれた男女全員が全力を出し切ることを本気でやっていました。

陸上競技大会で全校生徒が練習の成果を個々の種目で発揮していました。3年生は、最後の陸上競技大会であり、人生で最後の自己ベストに向けてがんばることができる行事だったと感じています。そして、一番大事なことは、安全第一です。怪我をせず、無事に陸上競技大会を終えることができよかったです。



(3年5組 広報委員)